

# 2016 年秋季 日本サーフィン連盟 公認ジャッジ資格試験

筆記問題 回答用紙

受験番号	受験級 (○印)	受験会場 (○印)
	A ・ B ・ C ・ D	北海道 ・ 仙台 ・ 東京 ・ 愛知 ・ 大阪 ・ 福岡 ・ 沖縄

問題1 ジャッジクライテリア (ジャッジ基準) の空欄を記述せよ。

選手がスコアリングポテンシャルを最大限に引き出すためには、波の ( ) で

( ) を伴う、ラディカルでコントロールされたマニューバーを行わなければ

ならない。( )、( ) を備えた

マニューバーは考慮されスコアに反映される。より良い波でもっとも難易度が高く、そして (

) を行える選手はより高得点を得ることが出来る。

問題2 サーフィン検定における3級に要求される技術を記述せよ。


問題3 5段階の「スコアリングカテゴリー」について用語と数字を記述せよ。

( ~ )
( ~ )
( ~ )
( ~ )
( ~ )

問題4 妨害を判定する基準及び順序を記述せよ

①
②
③
④